

新型コロナウイルス感染症対策をめぐる流山市内の取り組み

日付	特筆すべきこと	流山市の取り組み	党市議団の取り組み
1月15日	・国内初「陽性」者発生		
1月23日	・千葉県「健康危機管理対策本部」設置		
1月28日	・感染症法に基づく指定感染症及び検疫法に基づく検疫感染症に指定(施行:2月7日)		
1月30日	・国「新型コロナウイルス感染症対策本部」設置		
1月31日	・県内初「陽性」者発生、県:専用電話窓口を設置		
2月 3日	・クルーズ船における乗客・乗務員の下船不許可		
2月10日		・R2年度予算及びR元年度補正予算確定	担当課への聞き取り
2月13日	・国「緊急対応策」発表		
2月16日	・専門家会議「国内発生の早期」		市議団の申し入れ(第1回)
2月19日		・「感染症対策連絡会議」設置	
2月20日		・市議会開会(令和2年第1回定例会)	
2月21日	・マスク「今週1億枚を供給、来月には月産6億枚体制へ」菅官房長官記者会見		
2月23日	・政府「感染拡大の移行期」		
2月25～28日	2月24日、中国疾患コントロールセンターの報告をアメリカ医学会雑誌で公表。72,314名の対象者中、感染確定は44,672名(61.8%)。そのうち軽症(非肺炎、軽症肺炎など)81%、重症(呼吸困難等)14%、重篤(呼吸不全、敗血症性ショック、多臓器機能不全、多臓器不全)5%、死亡率2.3%。80歳以上の死亡率は14.8%、70～79歳で8.0%と高齢者で死亡率が高い。軽症例や重症例での死亡例はなく、一方、重篤では49.9%の死亡率。また、併存疾患の死亡率は、心血管疾患10.5%、糖尿病7.3%、慢性呼吸器疾患6.3%、高血圧6.0%、がん5.6%と報告。	・市議会一般質問	一般質問(26日)でコロナ感染対策について問う
2月25日	・国「基本方針」発表	・議会への報告(第1回)	
2月27日	・学校等「いっせい休校」要請		
2月28日	・全国知事会・全国市長会・全国町村会「いっせい臨時休業」等へ共同コメント発表	・市議会議会運営委員会で「新型コロナウイルス感染症に関する決議案」の提案確認 ・議会への報告(第2回)	市議団の申し入れ(第2回)
3月2日		・市議会常任委員会 ・議会への報告(第3・4回)	総務委員会:補正予算議案でコロナ感染対策を質疑
3月 3日		・学校等いっせい休校(～23日)、預かり学級(小1・2年限定)、学童クラブ(利用率は5割)	
3月 4日		・市議会全員協議会 ・市内救急病院へのマスク等「貸与」	マスク等「貸与」立会
3月5日		・全学童訪問(ヒアリング)	

3月 6日	・PCR検査が保険適用	・議会への報告(第5・6回)	市議団の申し入れ(第3回)
3月9～13日		・市議会予算特別委員会 ・預かり学級学年拡大	
3月10日	・国「緊急対応策」(第2弾)発表	・相談専用ダイヤル(tel04-7138-6121:平日8:30～17:15)	
3月11日	・WHO「パンデミックとみなせる」 ・全国知事会・全国市長会・全国町村会が「緊急対応策—第2弾—」へ共同コメント発表		
3月12日		・中学校卒業式(卒業生・教員・保護者2名・略式)	
3月17日			担当課への聞き取り(マスク等1万枚を市内関係機関へ「貸与」)
3月18日	・県:「検査状況」報告=最大検査実施件数83件/日(保健所等7か所で実施:検査可能件数242件/日)		
3月19日		・学童クラブ運営法人への概算払いを決定	
3月23日	・WHO「パンデミックが加速」	・市議会「決議」可決	
3月25日	・全国知事会・全国市長会・全国町村会「地域経済対策の実施」要請 ・県内東庄町び障害福祉施設でクラスター発生(86人感染)	・市内-感染者発生(1例目:70代・女性・海外渡航) ・「感染症対策本部」設置・格上げ ・議会への報告(第7回)	
3月26日	・新型インフルエンザ等対策特別措置法(平成24年法律第31号)第15条第1項の規定に基づき、「新型コロナウイルス感染症対策本部」設置 ・首都圏の週末外出自粛要請(県は東京への外出自粛要請) ・千葉県「新型コロナウイルス感染症対策本部会議」へ格上げ	・議会への報告(第8回) ・相談専用ダイヤル拡大(tel04-7138-6121:平日8:30～19:土日祝日8:30～17:15)	担当課への聞き取り
3月31日	・東京都台東区の中核病院でクラスター発生(29日までに96名感染)	・市内-感染者発生(2例目:40代・男性・経路不明) ・議会への報告(第9回)	
4月1日	・政府「1世帯2枚の布マスク」配布決定 ・「医療危機的状況宣言」を発令(日本医師会「6週間の外出自粛を」)		
4月2日		・公共施設利用の注意喚起 ・不審電話への注意喚起 ・市内-感染者発生(3例目:40代・男性・経路不明) ・議会への報告(第10・11回)	
4月3日	・政府「生活支援金(収入源世帯へ30万円支給)」方針の閣議決定 ・県知事より(4/4、5、11、12)土日の外出自粛要請(ステージup)	・市長からの市民メッセージ(3「密」へは「絶対に行かないください」。「かからない、うつさない」生活行動を要請) ・市独自融資支援策(中小企業融資(5年以内分)に対する利子分+信用保証分全額を補給)	市議団申し入れ(第4回)

4月4日	都内感染者数初百人越え(117名・うち経路不明者81名)		
4月5日	・都内感染者数、連続百人越え(143名・うち経路不明者92名) ・千葉県知事の緊急会見:県立高校の再開は5/6~(4/6の予定撤回)		
4月6日	・「PCR検査実施件数を1日2万件(現在の倍)に増やす」「全国の空き病床数をいまの2万8千床から5万床に増やす」「抗インフルエンザ薬「アビガン」の増産を支援し、現在70万人分の国内備蓄を200万人分まで増やす」と表明 ・国立感染症(東京)の発表(症例520人)によれば、ICU使用35人のうち約5割に、糖尿病や高血圧などの基礎疾患あり。気管挿管などの措置が必要になったのは347人のうち49人(14%)で、約6割に基礎疾患あり。	・小中学校始業式スタート ・議会への報告(12回目)	
4月7日	・新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が発令(7都府県) ・千葉県の対応措置発表		
4月8日	・全国知事会「打倒コロナ!危機突破宣言」 「緊急事態宣言を受けた緊急提言」を発表	・議会への報告(13回目) ・代表者会議で市長あての要請書提出を確認	
4月9日	・国内の感染者数5千人超え	・市長メッセージ(1回目)	
4月10日	・千葉県はフェーズを「0:現在」→「1:県内全域でのまん延への移行期」へ変更(感染者の週間伸び:4/2~9は112.3%増(3/19~26は48.9%増、3/26~4/2は70/.1%増))	市長あて緊急提言提出(正副議長+会派代表者)	
4月13日	・4市(千葉市・船橋市・松戸市・柏市)が知事へ緊急要望	・市内-感染者発生(4例目:50代・男性・経路不明。5例目:30代・男性・経路不明。6例目:男性・50代・男性・経路不明) ※1~6例目まで:男性・50才代以下ともに83%	
4月14日	・県市長会、県町村会長が県知事へ緊急要望 ・千葉県内の感染者数500人超 ・野田市「休業補償+ひとり親家庭への支援金支給」、市川市「休業補償」方針発表	・議会への報告(14・15回目) ・預かり学級・学童の「いっそうの強い自粛」、自治会館使用停止	
4月15日	緊急事態宣言の対象地域を全国へ拡大	・議会への報告(16回目) ・市職員の勤務変更(在宅・分散)	市議団申し入れ(第5回)
4月16日	・政府・与党内における補正予算案組み替え(収入減世帯へ30万円→国民一人へ10万円支給) ・緊急事態宣言の対象地域を全国へ ・拡大一千葉県知事「休業補償」表明		
4月17日		・議会への報告(17回目)	

4月18日	・国内の感染患者数1万人超(5千人→1万人:9日間)		
4月20日	・国内感染者のうち、1日の死者数が20人超えは初 ・変死体11人にコロナ感染(5都県、3~4月中旬、自宅や路上等) ・松戸市長メッセージ(3回目:人口当たりの感染率は、都と同一程度、大変危機的な状況)	・市内-感染者発生(7例目:40代・男性・経路不明。8例目:60代・男性・経路不明) 1~8例目の特徴:男性・経路不明:87.5%、50才代以下75%) ・議会への報告(18回目)	
4月21日	・感染者の死者数:4・10~18は12.5人(3/1~10:0.5人→3/11~20は2人→3・21~30は2.3人→3/31~4/9は4.2人) ・埼玉県内の自宅療養者が死亡(50代、男性)		
4月23日	・NY州民3000人検査で14%に抗体確認(州政府発表・州内無作為に選んだ3000人)	・市内-感染者発生(9例目:女性・60歳代・調査中)	
4月24日	・埼玉県内の自宅療養者が死亡2例目(70代、男性)	議会への報告(19回目)	
4月25日	・千葉県内の感染者数800人超		
4月26日	・CDC(アメリカ疾病予防管理センター)は公式の症状を新たに追加(①発熱、②咳、③息切れ+④悪寒、⑤悪寒に伴う繰り返される震え、⑥筋肉痛、⑦頭痛、⑧喉の痛み、⑨味覚あるいは嗅覚の低下)		
4月27日		・市補正予算(第1号)-専決処分	
4月28日	・感染者数:世界で300万人超、死者数21万人 ・感染者における脳血管及び心臓血管の疾患併発(米国医師が発表)	・議会への報告(20・21回目) ・専決議案—補正予算第1号発表	
4月30日		議会への報告(22回目)	・党市議団申し入れ(第6回) ・6月補正予算修正動議の打ち合わせ及びコロナ対策条例素案の打ち合わせ
5月1日		・市内-感染者発生(10例目:40代・男性・経路不明) ・市長メッセージ(2回目) ・市議会全員協議会、全会派内部協議(報酬削減、コロナ条例案)	
5月2日	・国内死者数500人超		
5月3日	・国内感染者数1万5千人超(1万人→1万5千人超:15日間)	・3~6日の午後、流山医師会輪番によるPCR検査(行政検査)を実施	
5月4日	・「緊急事態宣言」の延期(5月末)発表 ・外来患者千人中の抗体「陽性」者3.3%(神戸市立医療センター中央市民病院発表。3・31~4・7調査)	・市内-感染者発生(11例目:40代・女性・院内感染)	
5月7日	・川崎病学会等から声明(川崎病とCOVID-19に関する報道について)	・店舗家賃を減額した賃貸人(オーナー)へテナント支援協力金を交付(申請期間:5/11~6/30)	・コロナ条例素案の打ち合わせ ・市内医療機関へのアンケート訪問

5月8日	・緊急事態宣言延長に伴う要望(千葉県→政府)		・補正予算修正動議に向けた聞き取り ・市内医療機関へのアンケート訪問
5月9日		・帰国者・接触者相談センター等に相談目安が変更 ・クリーンセンターへの家庭ゴミの搬入休止(9～16日)	・市内医療機関へのアンケート訪問
5月10日	・新型コロナウイルス感染者用の病床について、ピーク時(3万1077床)の見込みに対し、確保1万4486床(厚労省発表) ・県内感染者数:880名(患者:780名、無症状病原体保有者:100名(12.8%)、うち40名死亡(5.1%))		
5月11日		・特別定額給付金に関するお問い合わせ専用のコールセンターを開設(tel04-7170-0567、受付:8:30～17:15(土、日、祝日を除く))	
5月13日	・愛媛県で院内感染:クラスター化(～12日まで9日間の県内感染者ゼロ)		
5月14日	・39県の「緊急事態宣言」解除 ・東京都の感染者数5千人超え ・千葉県の新規感染者ゼロ(45日ぶり)		
5月15日			・医療機関アンケートのまとめ
5月16日	・41道府県の「休業要請」解除、14府県の学校再開前倒し ・病床確保—全国目標(3万1491床)の50%達成(千葉県内目標1700床に対し807床)		
5月17日		・流山医師会輪番によるPCR検査(行政検査)を実施(2回目)	・民報「号外」を発行
5月18日		・市補正予算(第2号)-専決処分:・市独自の学生応援給付金制度発表	
5月19日	・学生支援(現金給付)を閣議決定(対象43万人、住民税非課税世帯が20万円/人、それ以外は10万円/人。予算総額は530億円(予備費充当))	・議会への報告(26回目)	・医療機関アンケートのまとめ
5月21日	・大阪、京都、兵庫の緊急事態「解除」		
5月22日		・図書館、博物館等の使用停止を解除(県要請)	・学生応援給付金制度の申請(第1号)
5月24日		・流山医師会輪番によるPCR検査(行政検査)を実施(3回目)	・医療機関アンケートのまとめ ・民報「号外」を発行
5月25日	・緊急事態宣言解除(千葉県)		・商工会議所からの聞き取り
5月26日		・議会全員協議会(6月議会の議案説明)	
5月27日		・特別定額給付金申請書郵送完了	
6月1日		・市長メッセージ(3回目:市民1万人に当たりの罹患率0.56%「緊急事態宣言下における特定警戒都道府県内自治体と比較し非常に低い」)	

6月2日			・党市議団申し入れ(第7回)
6月4日		・議会開会(専決処分及び先議案(補正予算3、4号)一審査・採決)	
6月8・9日		・委員会審査(補正5号審査)	・補正予算5号への修正案提案
6月10日		・定額給付金オンライン申請停止(5/1～:4250件)	
6月12日	・国第2次補正予算成立 ・雇用調整助成金引き上げ(8,330円→15,000円)	・議会閉会、補正5号採択	補正5号修正案提案
6月19日	・県をまたぐ移動制限の解除 ・休業要請の解除は最終段階(ライブハウスや接待を伴う飲食店、性風俗店) ・プロ野球(無観客)再開		
6月26日		・市内-感染者発生(12例目・男性・30代・経路不明)…市内で1～5例目までに約20日間、12～16例目までは10日間。1～5例までは男性・50代以上が8割でしたが、12～16例目は、男性・50代以上は4割へ減少。 ・執行部からの32回目の報告(冬休み:14→10日間)	・正副議長へ正常な議会運営等を求める申し入れ
6月27日		・市内-感染者発生(13例目・女性・50代・感染者濃厚接触)	
6月30日		・市内-感染者発生(14例目・男性・50代・感染者濃厚接触)	
7月2日			・党市議団申し入れ(第8回)
7月3日		・市内-感染者発生(15例目・女性・20才代・学校)	
7月4日	・J1リーグ(無観客)再開		
7月6日		・市内-感染者発生(16例目・女性・20代・経路不明) ・第6号補正(専決処分一億8461万円追加)の発表(執行部からの33回目の報告)	
7月8日		・市内-感染者発生(17例目・女性・10代・経路不明)	
7月9日	・都1日最大の感染者数(224人)、千葉県4月23日ぶりの20人越え(22人)		
7月11日		・市内-感染者発生(18例目・男性・50代・経路不明)	
7月12日		・市内-感染者発生(19例目・男性・30代・経路不明)…①1週間・10万人当たりの流山市の患者出現率は『3』人(東京『8』人、都道府県が社会に協力要請をする基準『2.5』人、緊急事態宣言発令の『5』人)。②人口1万人あたりの罹患率は流山市0.97%(6/1時点0.56%の1.73倍)に対し、松戸市2.63%(6/1時点2.35%の1.12倍)	

7月15日	日本医師会「対策再強化宣言」(Go Toキャンペーン「極めて慎重に」)		
7月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・1日最大の感染者数更新:都(286人)、千葉県(32人)含め、解除後初の600人超:仮に都内と同一感染率(0.002%)を当てはめると…千葉県「32→126人」、流山市「1→3.9人」) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内-感染者発生(20例目・男性・70代・経路不明)…市民1万人当たりの罹患率1.03% 	